

広島県におけるデジタルトランスフォーメーションの推進について

1 要旨・目的

デジタルトランスフォーメーション（以下、DXという。）の推進に向けて、活動方針やこれまでの取組状況等について報告する。

2 現状・背景

人口減少・少子高齢化による社会構造の変化によって生じる労働力不足や地域産業の衰退、生活交通や医療・福祉など県民の暮らしに直結する様々な社会課題に直面している。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、非接触や3密回避の「新しい生活様式」への対応やビジネスの在り方の変革が求められている。

こうした中、社会課題の解決と経済発展の双方を実現していくためには、官民ともに、デジタル技術を有効に活用しながら、従来のビジネスモデルや業務の進め方、組織文化・風土にとらわれることなく、変革を起こしていく必要性が高まっている。

一方で、令和3年2月に実施した県内企業等に対するDX実態調査において、デジタル技術の活用を含めたビジネス変革の必要を感じ、既に取り組んでいる、と回答した割合が約2割にとどまっており、DXに対する理解・実践意識の醸成が十分でないと認識している。

また、県・市町においては、DX推進体制の整備や、デジタル技術を活用した行政サービスの向上、地域課題の解決に向けた取組など、徐々にDXの取組が進みつつあるが、今後一層の質的・量的な拡大が求められている。

3 概要

(1) 対象者

県内の企業、事業者、行政、県民等あらゆる主体

(2) 事業内容（実施内容）

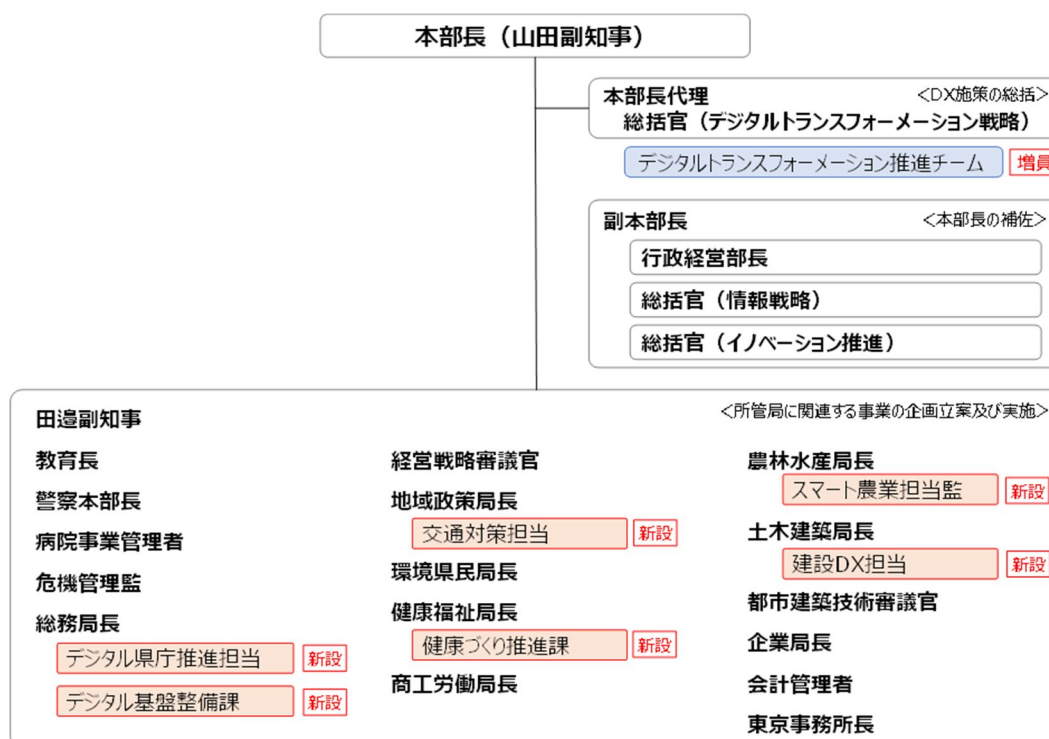
社会課題の解決と経済発展の実現を図るため、県内のあらゆる主体が、それぞれの目指す姿の実現に向けて、デジタル技術やデータを活用して、課題解決や新たな価値・サービスの創出を図っていけるように、DXに対する理解や実践意識の醸成、DXを実践する上で基盤となる人材育成やデータ利活用の推進、情報通信基盤の整備等に取り組む。

また、県では、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」において、DXを全ての施策を貫く視点の1つに位置付け、各分野の施策推進にあたって、デジタル技術やデータの活用を図っていく。

ア DX推進体制

年月	内容
令和元年7月	「デジタルトランスフォーメーション推進本部」を設置
令和2年4月	「デジタルトランスフォーメーション推進チーム」を新設
令和3年4月	<ul style="list-style-type: none"> ○各分野におけるDXの推進の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・公共インフラ（建設）、健康づくり、交通、農林水産分野におけるDXを推進する担当を新設 ○全県的・全庁的なDXの推進基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用した行政サービスの向上を推進する「デジタル県庁推進担当」を新設。 ・DXの基盤となる情報システムの整備や人材の確保・育成を担当する「デジタル基盤整備課」を新設

《デジタルトランスフォーメーション推進本部》



イ 令和3年度の取組方針

（ア）DXに対する理解・実践意識の醸成

○県職員の理解・実践意識の醸成

- ・DXの基本的な考え方や、データの活用方法等のDXの基礎を学ぶ研修の実施。
- ・デジタルリテラシー（デジタル技術やデータの特性を理解して活用できる力）や他自治体や企業の取組事例などを学んだり、デジタルツールやデータを利活用したりするセミナーを実施。

○県内産学金官の理解・実践意識の醸成

・広島県DX推進コミュニティの活用

企業，経済団体，行政，教育研究機関等と積極的に意見交換を行い，コミュニティへの参加を促すとともに，コミュニティの活動において，DXの基礎の学習や取組事例の研究，デジタルツールやデータの利活用体験などの取組段階に応じた活動や，それぞれの目指す将来像を共有したり，デジタル技術で実現する理想の暮らしや新サービスを構想したりする機会を拡充。

・支援策・DX関連情報の発信，案内

各主体がDXの取組段階に応じて支援策や情報を活用できるように支援策やDX関連情報を整理して発信。

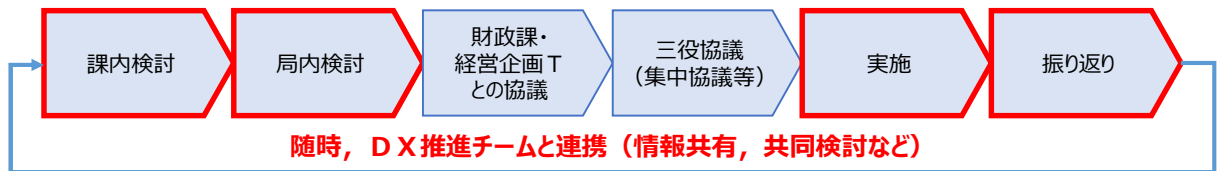
ー各局や国等が実施している所管事業者，市町向けのデジタル技術やデータ利活用関連の支援策を整理し，発信。

ー県内企業・事業者，市町からの相談を受け付け，活用可能な施策や情報を案内。

(イ) 各分野におけるDXの推進

- 「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」を踏まえ，各局において，DX推進チームと連携し，施策を推進。人材育成，データ利活用環境整備，スマートシティなどの分野横断的な取組は，DX推進チームがとりまとめを行う。

<施策の企画立案・実施等のプロセスにおける連携イメージ>



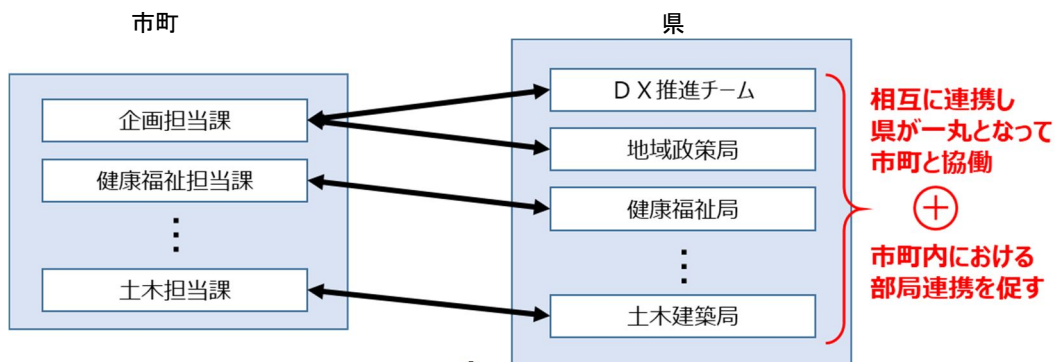
※内容に応じてデジタル県庁推進担当及びデジタル基盤整備課も参画

(ウ) 市町におけるDXの推進

- 市町におけるDXに対する理解・実践意識を醸成するため，市町職員を対象とした研修・セミナーを実施。

- 市町のDXを推進する際，①県の複数部局にまたがる案件について，県として十分なサポートができていない，②県と市町の連携が十分でないため，同じ課題についてそれぞれに実証事業を行うなど，効率的かつ効果的に取り組むことができていないといった課題があることから，県庁内及び県市町間の連携を強化し，一体となってDXを推進。

<県庁内及び県市町間連携のイメージ>



(エ) 人材確保・育成・活用

○県内企業や行政，教育研究機関等がDXを実践する際に求められる人材像や，求められる人材の所在（どこにどの程度存在するのか），待遇の相場観を把握するとともに，各局や国等が実施している人材育成支援策や，民間事業者が提供している人材育成・紹介サービスなどの人材育成メニューの体系的整理を行い，人材確保・育成・活用の仕組みの研究を行う。

※ 行政のDXに関する専門人材の確保・育成について，4月26日に「広島県・市町情報人材研究会」を設立。

○県及び市町の研修や，コミュニティの活動（勉強会，事例研究会等）を通じてDXに対する理解醸成，スキルアップを図る。

(オ) データ利活用の推進

○県内企業，県民，市町等を対象に，データリテラシー（データを読み，使い，分析し，論じる力）を身に着ける研修，セミナーを実施。

○民間ニーズを踏まえた県保有データのオープン化に取り組むとともに，オープンデータを活用して課題を解決するワークショップなどを通して，データを活用したサービス創出の機運を醸成。

○分野間データ連携環境の構築に向け，分野ごとのデータ連携基盤やデータベースの整備状況を踏まえ基盤設計を進めるとともに，データ連携のためのマネジメント・ガバナンスを構築する。

ウ 令和3年度 of 主な取組状況

(ア) DXに対する理解・実践意識の醸成

○県内企業や県・市町等の従業員や職員に対して，DXの基本的な考え方や，データの活用方法等のDXの基礎を学ぶ研修（みんなのDX研修）を9月から実施。

※研修の詳細は別紙1のとおり

○広島県DX推進コミュニティの活動において，講演会やセミナーを開催
（主な活動状況）

・広島商工会議所 工業部会・産業振興会 特別講演会（令和3年4月）

「広島の未来をつくるDX～after コロナ時代の新たな地域社会の創出に向けて～」

講師：山田副知事（コミュニティサブリーダー）

・勉強会「飲食店DX入門編」（令和3年4月～5月，全5回）

コロナ禍で厳しい経営状況にある飲食店に焦点を当て，取組事例を交えながら，飲食店におけるデジタル技術の活用の必要性や考え方，取り組み方を解説。

講師：みらい株式会社 統括ディレクターC00 野元伸一郎氏

・勉強会「ゼロからのデジタル化」（令和3年5月～6月，全3回）

タブレットの活用やキャッシュレス決済の導入の取組事例を交えながら，身近なデジタル技術を活用して顧客の利便性向上や業務効率化などにつなげていく考え方や取り組み方を解説。

講師：竹原商工会議所 事務局長兼相談所長 田中雅一氏

- ・講演・対談「ニューノーマル時代を見据えた産業界のDXの推進」（令和3年8月）
「DXレポート2の中間取りまとめ」を中心に、産業界におけるDXの意義や課題、DX政策について講演と対談。
講師：経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課長 田辺雄史氏
対談：田辺氏，山田副知事（コミュニティサブリーダー）

(イ) 各分野におけるDXの推進

- 各局とDX推進チームが連携した事業検討・事業執行（事前協議，プロポーザル審査会への参加等），勉強会の実施など

(ウ) 市町におけるDXの推進

- 各市町への取組状況のヒアリングや，審議会等への参加，個別研修会の実施など

(エ) 人材確保・育成・活用

- 「広島県・市町情報人材研究会」については，4月以降，研究会を3回実施するとともに，各市町への個別ヒアリングを行い，具体的な人材確保手法等について協議
- DXの推進に必要な人材像等に関する調査，有識者へのヒアリング等の実施など

(オ) データ利活用の推進

- 県保有データの公開に向けた棚卸しやデータ連携基盤の構築に向けた検討の実施など

(3) スケジュール

項目	4～6月	7～9月	10月～12月	1～3月
DXに対する理解・実践意識の醸成			DX基礎研修の実施	
	DX推進コミュニティによる勉強会やセミナー等の実施			
各分野におけるDXの推進	各局とDX推進チームが連携した事業検討，勉強会の実施など			
市町におけるDXの推進	各市町へのヒアリング，審議会への参加など			
人材確保・育成・活用	県・市町情報人材研究会等を通じた人材確保手法の検討など			
データ利活用の推進	県保有データの公開			
	データ連携基盤構築に向けた検討，設計			

(4) 予算

別紙2のとおり

4 その他

広島県DX推進コミュニティHP：<https://hiroshima-dx.jp/>

広島県デジタルトランスフォーメーション基礎研修 (通称「みんなのDX研修」)の実施について

1 要旨・目的

全県的にデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）を推進するためには、民間、行政ともに、人材の確保・育成が重要であるが、まずはDXに対する正しい理解と実践意識を醸成する必要があることから、県内に事業所がある企業の社員、県内の自治体や団体の職員等を対象に、DXの考え方や実践するための基礎を学ぶ研修を実施する。

2 現状・背景

令和3年2月に実施した県内企業等に対する実態調査において、

- ・ DXを知っている、と回答した割合が約2割、
- ・ デジタル技術の活用を含めたビジネス変革の必要を感じ、既に取り組んでいる、と回答した割合も約2割

に止まっており、民間・行政ともに、人材の育成の原点である、DXに対する認知や理解・実践意識の醸成が十分ではない。

3 概要

(1) 受講対象

県内に事業所がある企業の社員、県内の自治体や団体の職員、県内在住の方
(主にDXを学んだ経験がない方を想定)

(2) 開催概要

ア 名称	令和3年度広島県デジタルトランスフォーメーション基礎研修 (通称「みんなのDX研修」)
イ 開催方法	Zoomを利用したオンラインによるライブ講義
ウ 定員・回数	1,500人(30人/回×50回開催)
エ 研修時間	3時間(休憩時間を含む。)
オ 申込方法	広島県DX推進コミュニティのホームページから申込み
カ 参加費	無料

(3) 研修内容(予定)

ア DXとは

- ・ DXの意義
- ・ DXの事例

イ データの利活用方法

- ・ データ利活用の意義
- ・ データを用いた仮説や結論の導き方
- ・ データの適切な表現方法

ウ その他

- ・ グループワーク等

(4) スケジュール

ア 開催期間 令和3年9月17日(金)～令和4年3月中旬までの期間に
50回実施(詳細はホームページに掲載し、随時更新)

イ 申込開始日 令和3年9月1日(水) 12:00 開始

(5) 予算(単県)

8,998,000円

4 その他

県のHPや広島県DX推進コミュニティのHPに研修概要を掲載するとともに、別紙のリーフレットにより、各種団体を通じて開催を周知する。



広島県が主催する

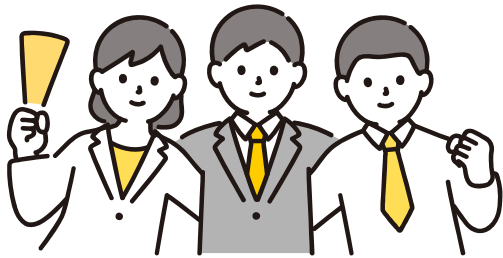
令和3年9月から
ほぼ毎週開催

Zoomによる
ライブ講義です。

デジタルトランスフォーメーションの
基礎をわかりやすく学べる研修です。



DXって組織一丸で取り組んだ方が
成果が出るってデータがあるんじゃないかと！



日程確認・お申込はこちら



<http://minnano-dx.jp/>

結局
DXって何なん。



デジタルトランスフォーメーション

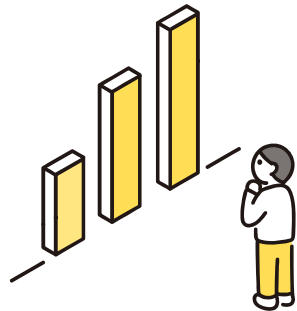
みんなのDX研修

(正式名称：令和3年度広島県デジタルトランスフォーメーション基礎研修)

初めから
うちだけで悩まなかったら
よかったわ。



どうやったらわしのデータが
役に立つんかのお。



気づかん間に
デジタルで暮らしが
良くなったよねえ。



参加 無料

事前申込※が必要

※ 研修効果を高めるため1回あたりの定員を30人としています。受講日についてご希望に添えない場合がありますがご協力をお願いいたします。

- 研修名 令和3年度広島県デジタルトランスフォーメーション基礎研修 (通称「みんなのDX研修」)
- 主催 広島県デジタルトランスフォーメーション推進チーム / 広島県DX推進コミュニティ

- 開催期間 2021年 **9**月 から、2022年 **3**月の間で、合計 **50**回開催
(研修開催日程の確認や空席状況は特設サイトからご確認ください。)

- 申込方法 上記のQRコード、または、広島県DX推進コミュニティのホームページからお申込みください。

広島県DX推進コミュニティ

検索

<http://minnano-dx.jp/>

令和3年度デジタルトランスフォーメーション基礎研修 (通称「みんなのDX研修」) について

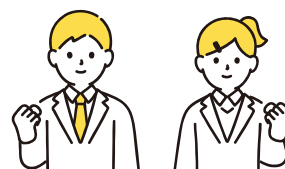
1 目的

全県的にDXを推進するためには、民間、行政ともに、人材の確保・育成が重要だと考えられますが、まずはDXに対する正しい理解と実践意識を醸成していただく必要があることから、県内の企業、団体、官公庁にお勤めの方等を対象に、DXの考え方や実践するための基礎を学ぶ研修を実施します。



2 概要

- (1) 受講対象
県内の企業、団体、官公庁にお勤めの方等
(主にDXを学んだ経験がない方を想定)



- (2) 開催概要
- | | |
|---------|--|
| ア 名称 | 令和3年度広島県デジタルトランスフォーメーション基礎研修
(通称「みんなのDX研修」) |
| イ 開催方法 | Zoomを利用したオンラインによるライブ講義 |
| ウ 定員・回数 | 1,500人(30人/回 × 50回開催) |
| エ 研修時間 | 3時間(休憩時間を含む。) |
| オ 申込方法 | 広島県DX推進コミュニティのホームページから申込み |
| カ 参加費 | 無料 |

(3)

1 DXとは	<ul style="list-style-type: none"> ●DXの意義 ●DXの事例
2 データの利活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ●データ利活用の意義 ●データを用いた仮説や結論の導き方 ●データの適切な表現方法
3 その他	<ul style="list-style-type: none"> ●グループワーク等

- (4) スケジュール
- | | |
|--------|---|
| ア 開催期間 | 令和3年9月17日(金)から令和4年3月中旬までの期間に50回実施(詳細はホームページに掲載し、随時更新) |
| イ 申込開始 | 令和3年9月1日(水) 12:00 から |

令和3年度当初予算要求 主なDX関連事業一覧

別紙2

区分	ビジョン領域	局名	事業名	事業目的	事業内容	事業費(千円)	左記のうちDX 関連事業費 (千円)
■仕事・暮らしのデジタル化の推進							
	スポーツ・文化	地域	スポーツを活用した地域活性化推進事業	地域のスポーツ資源であるスポーツチームを最大限活用し、県民の関心を高めるための仕組みを構築する。	・広島県内の多様なスポーツチームの様々なスタッツ(成績)等のデータを活用し、県民に新たなスポーツの楽しみ方の提供を検討	84,393	30,000
	教育	環境	魅力ある高等教育環境構築事業 (大学の魅力づくり推進事業)	遠隔講義システムの導入による県内大学・短大のネットワーク化や、県内全ての大学等の学生がデジタルリテラシーを修得できる環境の整備など、大学連携による取組の強化を通じて、本県の高等教育の魅力向上を図る。	・遠隔講義システムによる県内大学等のネットワーク化 ・デジタルリテラシー提供科目の整理	51,959	48,518
	環境	環境	デジタル技術を活用した資源循環サイクル拡大事業	デジタル技術を活用することにより、リサイクル率の更なる向上を図るとともに、不法投棄に対する監視体制の強化を図る。	・混合廃棄物や新素材・新製品などのリサイクル困難物に係るリサイクル施設整備への支援 ・トレーサビリティ強化のための電子マニフェストの普及促進 ・不法投棄監視における人工衛星やドローンの活用	521,155	521,155
	子供・子育て	健康	子供の予防的支援構築事業	子供の育ちにつながるリスクを早期に把握し、関係者で情報共有して予防的支援を行うことにより、問題が未然に防止され、子供が心身ともに健やかに育つこと。	・モデル市町において、子供の育ちに関する情報をAIを活用したシステムにより分析 ・母子保健データをデジタル化するシステムを開発	124,504	124,504
	健康	健康	働き盛り世代の健康づくり推進事業	人生100年時代を迎える中、県民一人一人が、それぞれのライフステージに応じて、心身ともに健康で活躍できるよう、若い時期からの適切な生活習慣の定着を図る。	・若い時期からの適切な生活習慣の定着に向けて、企業、大学等と連携し実証試験を行い、健診情報等のデータを活用した効果的な介入方法を検討	24,545	21,072
産業イノベーション		商工	ひろしまサンドボックス推進事業	最新のデジタル技術を活用し、ニューノーマル時代における地域課題や行政課題等の解決に向けた実証実験を県内外の民間企業等との共創により行い、広島発の新たなソリューションの創出を目指すことを通じて、産業DX・イノベーション人材の育成・集積を図る。	・最新のデジタル技術を活用し、ニューノーマル時代における地域課題や行政課題等の解決に向けた実証実験を県内外の民間企業等との共創により実施	165,500	165,500
		商工	イノベーション・エコシステム形成事業	「イノベーション・ハブ・ひろしまCamps」や「ひろしまサンドボックス」などの取組により生み出してきた多様な人材や企業による新たな繋がりや、産学官による新規プロジェクトの組成など、これまでの取組で生まれた成果に加え、国内8地域のうちの1つに選定された「スタートアップ・エコシステム拠点都市ひろしま」の認知度や、Hiroshimaの国際的知名度を活かし、世界に選ばれる「イノベーション創出拠点ひろしま」として国内外に認知されるイノベーション・エコシステムを形成する。	・インドのデジタル人材と地域企業が共創を通じ、デジタル人材の育成・獲得、成長支援人材育成・派遣 ・クラウド上での多様な人材・企業のマッチングシステムによるオープンイノベーション創出を検討	163,846	63,232
		商工	「ひろしまものづくりデジタルイノベーション」創出事業	産学官の連携の下、地域の大学等の機能・知見を活用して、地域の中核的な産業の振興と高度かつ専門的な人材育成を行い、当該高度・専門人材の地域での就業を促進することで、地域産業の更なる振興と人材育成の促進の好循環を起し、地域の活力の向上と持続的な発展を図る。	・ひろしまデジタルイノベーションセンターの運営、研修の実施 ・ものづくりのバリューチェーン全体のデジタル化に係る研究支援等	970,221	970,221
		商工	ものづくり価値創出支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい経営環境においても研究開発投資を減退させることなく、デジタル化等環境変化に対応していくための前向きな研究開発に対して支援していくことで、本県のものづくり企業の持続的な発展を図るため、取り組むべき課題と技術構想が明確になっている応用・実用化開発を支援する。	・デジタル化に関する応用・実用化開発への支援	347,700	347,700

区分	ビジョン領域	局名	事業名	事業目的	事業内容	事業費(千円)	左記のうちDX 関連事業費 (千円)
	働き方改革・ 多様な主体 の活躍	商工	働き方改革推進事業	時間や場所にとられない柔軟な働き方や個々の能力を発揮できる多様な働き方など、それぞれのライフスタイルに応じて働くことができる労働環境の整備を促進するとともに、働きやすさのみならず、従業員の働きがいやモチベーションの向上など、企業成長をもたらす働き方改革への理解と実践を促進する。	・テレワーク等の有効性の理解と導入を促進	86,376	4,659
	農林水産業	農林	ひろしま型スマート農業 推進事業	広島県の中山間地域に対応した、ひろしま型スマート農業技術を確立するとともに、これらを活用した経営モデルを構築し、普及させることにより、生産性の高い農業の実現を図る。	・広島県の中山間地域に対応した、ひろしま型スマート農業技術を確立するための現地実証試験やコンソーシアムによる技術の検討、普及性の高い儲かる農業経営モデルの構築	100,000	100,000
農林		水産業スマート化推進事業	デジタル技術の活用によるかき養殖の生産安定化や水産資源回復に向けた漁場環境改善等により、かき及び瀬戸内の地魚を安定的に供給する体制の構築を目指す。	・かきのへい死や生育不良を抑制するため、デジタル技術を活用した養殖生産技術を確立 ・水産資源回復に向け、デジタル技術を活用した漁場環境調査により、海底耕うんや藻場造成の効果を検証	52,338	38,500	
農林		経営力向上支援事業	経営力の高い担い手が生産の大部分を占める力強い生産構造への転換を目指し、経営発展意欲が高い担い手に対し、生産性の向上を図るなど企業経営への転換に向けた支援に取り組む。	・デジタル技術を活用して、ハウスレモンの収量を増加させる環境制御技術を確立するとともに、レモンの栽培適地について詳細なマップを作成	56,906	9,504	
	教育	教育	「学びの変革」推進事業	あらゆる教育活動において、日常的にデジタル機器等を活用する環境を整え、情報モラルを含めた子供たちのデジタルリテラシーの向上を図るほか、デジタル技術の効果的な活用等を通じた、子供たちの主体的な学びを促す教育活動の充実等により「学びの変革」の更なる加速に取り組む。	・生徒一人1台コンピュータの保護者負担による導入と併せて、学校で使用する周辺機器の整備や活用のための研修等を実施 ・遠隔教育システムによる学習環境を中山間地域等に位置する県立高等学校に整備 ・児童生徒一人一人の学習進度や能力、関心等に応じた個別最適な学びの実現に向けた実証研究等を実施	376,559	334,313
教育		教育	学びのセーフティネット 構築事業	貧困の世代間連鎖を断ち切るため、家庭の経済的事情等に関わらず、全ての子供の能力と可能性を最大限高められる教育を実現する。	・経済的に困難な家庭の生徒に対して、生徒一人1台のPC端末の購入費用等の給付を実施	324,712	164,500
教育		教育	「GIGAスクール構想の実現」に向けたICT基盤整備事業	デジタル機器を活用した効果的な教育を実現するため、学校における高速大容量のネットワーク環境(校内通信ネットワーク)の整備を推進する。	・校内通信ネットワークの通信回線整備及び校内ネットワークの維持管理	110,201	110,201
■地域社会におけるデジタル化の推進							
	中山間地域	地域	デジタル技術を活用した 中山間地域の生活環境 向上事業	中山間地域が抱える生活に身近な課題について、デジタル技術を活用して解決するための新たなサービスを導入しようとする市町の取組を支援し、広く中山間地域での普及展開につなげる。	・デジタル技術を活用したサービスを通じて、中山間地域における身近な生活課題等の解決を図る市町の構想策定及び実装への取組を支援	110,000	110,000
		地域	広島型MaaS推進事業	MaaS等のデジタル技術を活用した新たな交通サービスをモデル化し、展開することで、地域公共交通の利便性・持続可能性の向上を図る。	・中山間地域におけるMaaSモデルの構築支援 ・交通データ等の可視化や分析機能を有したモビリティデータ基盤の構築とMaaSモデルの定量的検証の実施	42,000	42,000

区分	ビジョン領域	局名	事業名	事業目的	事業内容	事業費(千円)	左記のうちDX 関連事業費 (千円)
■行政のデジタル化の推進							
	防災・減災	危機健康	「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業	県民一人ひとりが災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となって県民総ぐるみ運動に取り組むことにより、災害に強い広島県の実現を目指す。	・デジタル技術の活用による個別最適ナリアルタイムでの災害リスク通知発信のためのシステム構築 ・海外の先進事例や最新のデジタル技術を踏まえた次期防災情報システムの将来構想の策定	367,300	132,651
	産業イノベーション	総務	デジタル技術を活用した研究技術支援機能強化事業	総合技術研究所において、将来にかけて必要とされる技術を有する人材を継続的に育成し、県内中小企業及び農林水産事業者が抱える技術的課題に対応する基盤技術を整備することにより、技術支援機能を強化する。	・デジタル技術を活用できる総合技術研究所研究員の育成 ・研究員の熟練技能のデジタル化による技術支援機能強化	29,660	29,660
	働き方改革・多様な主体の活躍	地域	ひろしまスタイル定住促進事業	デジタル技術を活用して、幅広い地方移住に関心がある層に対し、的確に情報を発信するとともに、東京相談窓口のノウハウを活用したAI相談システムにより、地域や仕事等とのマッチングを行う。	・デジタルマーケティングの手法を用いた情報発信 ・AIを活用した相談対応システムの運用	90,549	23,837
	子供・子育て	健康	保育所入所事務デジタル化推進事業	待機児童を解消するため、これまで実施してきた施設整備及び保育士確保に加え、新たにAIにより市町が行う保育所入所調整の最適化・効率化を図るとともに、県民サービスの向上のため、すべての市町において入所事務全般のデジタル化を進める。	・デジタル技術(AI)による入所調整の最適化・効率化 ・入所事務のデジタル化の推進	2,431	2,431
	観光	商工	観光地ひろしま推進事業	観光戦略の基礎となるマーケティングの強化、落ち込んだ観光ニーズの早期回復、自立的・継続的な観光産業の確立に向けた取組などを推進していくことにより、ブランド価値の向上とさらなる来訪増の好循環を実現し、観光が本県経済の成長を支える産業の一つとなることを目指す。	・観光統計の拡充及びデジタルマーケティングの実施 ・観光関連データを集積、共有する基盤の整備	759,765	146,492
	防災・減災	土木	インフラマネジメント基盤構築事業	社会資本整備の調査・設計・施工から維持管理のあらゆる段階において、デジタル技術を最大限に活用した、より効果的・効率的なインフラマネジメントを推進し、県民の安全・安心や利便性、建設分野の生産性を向上させる。さらに、防災・物流・交通・観光など幅広い領域において、官民データを組み合わせた新しいサービスや付加価値の創出を目指す。	・道路や河川等の公共土木施設に関するあらゆる情報を一元化・オープンデータ化し、各種データの融合や市町・民間企業等との連携を可能とするシステム基盤である「インフラマネジメント基盤(DoboX)」の構築 ・インフラマネジメント基盤とデータ連携するための既存システムの改修	110,000	110,000
	治安・暮らしの安全	企業	水道広域連携推進事業	上下水道事業の更なる効率化や県民サービスの維持・向上を図るため、上下水道DXを推進する。	・県内水道事業の業務の効率化や県民サービスの維持向上を図るため、広域運転監視システムの整備やAIによる管路の劣化予測の試験導入を実施	97,394	27,900
	治安・暮らしの安全	警察	WEB公開型犯罪情報システム運用事業	新たに開発・運用するスマートフォン向けアプリにより、より効率的かつ効果的に犯罪・交通事故等に関する情報を発信することで、県民自らが危険を察知して犯罪被害等を回避できる犯罪抵抗力の向上を図る。	・WEB上での犯罪発生マップの公開 ・スマートフォン向け防犯アプリの開発・運用	9,416	9,416
■デジタルトランスフォーメーションの推進を支える基盤づくり							
	—	総務	広島県デジタルトランスフォーメーション推進事業	デジタル技術を活用して、様々な社会課題の解決と経済発展の双方の実現を図るデジタルトランスフォーメーション(DX)を「仕事・暮らしのデジタル化」、「地域社会におけるデジタル化」、「行政のデジタル化」の3つの柱で進めるとともに、それらを支える基盤として、人材育成とデータ利活用の推進に取り組む。	・広島県DX推進コミュニティを通じた企業等のDX推進支援 ・DX推進を支える人材育成、データ利活用等の基盤づくり	30,214	30,214
合 計						5,209,644	3,718,180